

令和4年度「緑の募金」運動実施方針

[緑の募金で進めようSDGs]

「緑の募金で進めようSDGs」をスローガンに、市町村緑化推進委員会や募金協力団体などと連携し、地域の緑づくり、人づくりに大きな役割を果たしている「緑の募金」運動の普及・啓発活動を一層強化するとともに、SDGs達成への貢献などを切り口に、コロナ禍における感染症対策を徹底して募金活動に取り組み、「緑の募金」運動のより一層の進展を図ってまいります。

記

1 募金活動の展開

令和4年度は、次のとおり募金活動を展開する。

(1) 募金期間（集中的に募金活動を実施する期間）

① 春期募金 4月15日～ 5月31日

② 北海道緑化募金 6月 1日～ 6月30日

③ 秋期募金 9月 1日～10月31日

※1 「北海道緑化募金」は、北海道が独自に設定するもの

※2 市町村緑化推進委員会等は、上記の期間を中心に、地域の実情に応じて募金活動を実施。（寄附金の受け入れは随時可能）

※3 森と緑の会は、4月23日（土）から5月31日（火）までを街頭募金集中期間として、札幌市中心部において街頭募金活動を実施予定。（ただし、新型コロナウイルス感染症の状況により実施方法又は実施の可否を判断）

(2) スローガン（全国統一） 「緑の募金で進めようSDGs」

(3) 北海道緑化活動啓発標語 「育てよう 優しい心と あふれる緑」

※岩見沢市立上幌向中学校 杉本恋実（中1）さんの作品

(4) 募金目標額 4, 000万円

(5) 緑の羽根の着用期間

① 春期 4月15日～5月31日

② 秋期 9月 1日～9月30日

※ 「赤い羽根」の着用との輻輳を避ける観点から、秋期募金期間（9/1～10/31）のうち、9月を「緑の羽根」着用強調期間に設定して着用を呼びかける。

2 募金活動の重点方策

令和4年度は、次の事項を重点方策として取組を行う。

(1) 普及・啓発活動

「緑の募金」が地域の緑づくり、人づくりにどのように活用されているかなどの使途情報の提供や、森林や緑づくりの大切さを考えていただけるよう、広く道民に効果的に普及・啓発を行う。

- ① ホームページやSNSでの情報発信
「緑の募金」 用途状況や活動状況、寄付者の紹介などをHPやSNSで発信
- ② 緑化活動啓発作品コンクールの実施
小・中・高校の児童・生徒が、作品の制作過程で森林や森づくりの大切さを学ぶ
- ③ 広報誌「みどりのGift」、カレンダーなどの製作・配布
コンクール入賞作品を用いて広報誌等を製作し、広く道民に配布し普及・啓発
- ④ 市町村広報誌による募金活動情報の周知
「緑の募金」 期間や取組状況等の情報を提供し、地域住民への周知を依頼
- ⑤ 新聞、地域コミュニティ誌などの活用による情報発信
様々な活動の情報などを積極的に提供し、報道を働きかけ

(2) 募金活動

これまで取り組んでいる街頭募金や職場募金を進めるとともに、SDGsを切り口に、様々な場所や方法で「緑の募金」に参加できるよう、多様な活動に取り組む。

- ① 様々な場所への募金箱等の設置依頼
道の駅、各種店舗、公共施設等への募金箱の設置を要請
- ② 企業への募金協力の要請
SDGs達成への貢献など企業のCSR活動による募金への参加呼びかけ
- ③ 多様な募金方法の検討、推進
用途限定募金（お魚殖やす植樹）、自販機募金、古本募金、お宝募金、ポイント募金などを進めるほか、キャッシュレス対応募金の検討
- ④ 家庭募金、職場募金の推進
家庭募金に取り組んでいない市町村などへの働きかけ
- ⑤ 北海道植樹の日・育樹の日と連携した重点的な取組
植樹の日（5月第2土曜）・育樹の日（10月第3土曜）に実施される行事と連携し、重点的な募金活動を実施
- ⑥ 募金協力者の顕彰
「緑の募金」への協力者（個人、団体）に対する顕彰の実施
- ⑦ 新型コロナウイルス感染症対策
イベントの開催、街頭募金等の取組にあたっては、関係する政府、道などのガイドラインに基づき、対策を徹底